

暮らしの情報

新規学校卒業者の求人ハローワークへ

平成20年3月新規学校卒業者（中学・高等学校）の求人は、6月20日(水)から受付を開始します。

新規学校卒業者の多くは地元での就職を希望していますが、地元企業の求人公開の遅れから、多くの若い人材が地元を離れて就職していますので、早期に採用計画を立て、ハローワークへ求人申込みされるようお願いいたします。

中学・高等学校の新規学校卒業者に係る開始等の日程は次のとおりです。

- ▼【新規中学校卒業者】
- ▼求人受理開始 6月20日(水)↵
- ▼事業主への求人票(控)返 戻 7月1日(日)↵
- ▼推薦(紹介)・選考・採用 内定開始 12月1日(出)↵
- ▼【新規高等学校卒業者】
- ▼求人受付開始 6月20日(水)↵
- ▼事業主への求人票(控)返

戻 7月1日(日)↵

▼推薦(紹介) 開始 9月5日(水)↵

▼選考・採用内定開始 9月16日(日)↵

なお、詳しくはハローワーク

江差 (☎0139-521

0178)、または函館(☎

0138-2610735)

へお問い合わせください。

平成19年度

学校グラウンド夜間開放使用一覧

宮小G A 18:00~19:00 B 19:00 C 20:00~21:00
 その他 A 18:00~19:00 B 19:00 C 20:00~21:00

曜日	時間	奥尻小学校	奥尻中学校	宮津小学校
月	A	ダークホース	役場野球部	
	B	ダークホース	奥尻 F C	
	C	ダークホース	奥尻 F C	
火	A	スパローズ	役場野球部	
	B	スパローズ	奥尻島走友会	
	C	スパローズ	奥尻島走友会	
水	A		役場野球部	ダークホース
	B		奥尻 F C	ダークホース
	C		奥尻 F C	ダークホース
木	A	役場ソフト部	役場野球部	スパローズ
	B	役場ソフト部	奥尻島走友会	スパローズ
	C	役場ソフト部	奥尻島走友会	スパローズ
金	A		役場野球部	
	B		奥尻 F C	
	C		奥尻 F C	
土	A			
	B			
	C			
日	A			
	B			
	C			
管理人		大盛 司 2-3790	播磨 博幸 2-2057	寺分 典彦 2-3177

グラウンド夜間開放決まる

奥尻町教育委員会では、平成19年度のグラウンド夜間開放事業として、次のとおり利用団体を決定しましたのでご紹介します。

なお、各種スポーツへの参加希望は、各団体責任者へお問い合わせください。

平成19年度 グラウンド開放事業利用団体責任者一覧表

No.	団体名	責任者氏名	住所	TEL	会員数	活動内容
1	役場野球部	大須田 直哉	字奥尻	2-3111	24	野球
2	奥尻 F C	成田 圭一郎	字奥尻	2-3111	12	サッカー
3	奥尻島走友会	松田 洋	字赤石	2-4489	15	マラソン(ランニング)
4	役場ソフト部	久保 克博	字奥尻	2-3111	20	ソフトボール
5	スパローズ	坂本 彰	字奥尻	2-2046	19	ソフトボール
6	ダークホース	松下 邦夫	字奥尻	2-2046	20	ソフトボール

5月の町長の動向

1日 奥尻しまびらき
2日 檜山定例町議会/檜山広域行政組合理事会/漁業振興協会理事会(江差町)

4日 HCC・平成19年度奥尻島磯釣り大会表彰式

7日 第1回奥尻町議会臨時会
奥尻島観光大使任命セレモニー(札幌市)

9日 平成20年度港湾予算要求
第1次ヒアリング/北海道防災航空室訪問(札幌市)

10日 医療関係機関訪問(札幌市)

11日 平成19年度北海道港湾協会定期総会(札幌市)

13日 第34回東京奥尻島人会総会及び懇親会(東京都)

17日 奥尻島魚つきの森推進協議会総会

18日 奥尻地域地熱調査検討会

21日 平成19年度檜山総合開発期成会総会(江差町)

24日 平成19年度奥尻商工会通常総会

25日 平成19年度北海道新幹線建設促進道南地方期成会総会ほか2期成会総会(函館市)

28日 北海道知事まちかど対話

29日 地域づくり推進会議in檜山(江差町)

30日 第61回北海道町村会定期総会



平成18年度 奥尻町離島漁業再生支援交付金事業の公表

奥尻町では、平成17年度から21年度までの予定で「離島漁業再生支援交付金事業」に取り組んでいます。

この事業は、創意工夫によって島の特色を生かした漁場の再生力の向上や、良好な地域環境の保全等といった多面的機能を維持増進し、離島漁業の再生を図るための事業です。

奥尻町で平成18年度に実施した事業内容を、次のとおり公表します。

協定対象 漁業世帯数	206世帯	交付金額	28,016千円
漁場の生産力の向上に関する取組状況	平成18年度実施した取組事項		
	取組内容	取組の成果	取組成果の説明
	●ウニ深浅移殖放流 (内容) ウニ深浅移殖放流は潜水器を用いて未利用資源となっている深場に生息しているウニを漁場となる浅場へ移殖する事業。	160万個	事業の実施により未利用資源の活用が図られ漁業所得の向上が期待できる。(9月に実施)
	●エゾバカ貝対策(未利用漁場探索) (内容) 島周辺に点在している漁場となっていない海域(砂底域)におけるエゾバカ貝の生息状況を調査し、今後漁場となり得る漁場の探索を実施する。	5箇所	今回の調査結果からはあらたな漁場として利用できる良好な場所は見つからなかったが、一部で稚貝が多く見られた場所もあったため今後に繋がるものと期待している。(7月に実施)
	●ウニ・アワビ資源量調査 (内容) ウニ・アワビ資源量調査は、潜水器を用い島の周囲に設定した定点に生息しているウニ・アワビの資源量状況を調査する。	94点	ウニ・アワビ資源量の状況が確認できたことにより今後の計画的な生産を図るうえの基礎資料となった。(漁期後調査 10月に実施)
	●海岸清掃 (内容) 例年、島を囲む海岸や漁港には漂着ゴミが堆積し一部では漁業生産活動にも悪影響を及ぼしている。本事業では海岸・漁港などを中心とした清掃ボランティア活動を実施する。	延べ 259名参加	漁港や海岸を中心としたボランティア活動が円滑に実施されたことにより、漁業生産活動の改善ほか景観が魅力のひとつである奥尻島のイメージアップにも繋がった。
	●密漁監視 (内容) 漁業者で分担し密漁監視活動を実施する。	延べ 379名従事	密漁監視行為を行うことにより、密漁防止や抑止効果が高まった。
	●トド被害防止対策 (内容) 近年、トドの来遊が増えたことにより漁業資源ほか漁具被害も大きく漁業者の間では深刻な問題となっている。このような現状を踏まえ、本事業では関係機関やハンターの協力を得て威嚇射撃を実施しトドが来遊しないよう取り組む。	3回	トド威嚇射撃を実施したことにより、日増しにトドの目撃件数が減少したことは、トドによる漁業資源や漁具被害の減少に繋がったものと思われる。
集落の創意工夫を生かした取組状況	平成18年度実施した取組事項		
	取組内容	取組の成果	取組成果の説明
●ナマコ養殖試験 (内容) 近年、ナマコ需要の伸びに伴う価格の高騰により奥尻町においても着業者が増え、水揚・生産額とも増加している一方、資源の枯渇が危惧されている。本事業では給餌による養殖試験を実施することにより、ナマコの生態を知るとともに多様な飼育試験による有効な養殖方法の確立を目指す。	—	試験結果から、飼育当初では順調な成長が見られたことや給餌量などの目安が把握できたことなど今後の飼育に役立つ結果が得られた。一方、夏場にかけて斃死するナマコが増加し壊滅状態になったことから、今後、飼育するにあたって多くの課題が見つかった。次期、飼育試験ではこれらの成果と反省を踏まえ更なる工夫と検討をしながら養殖技術確立のため努力する必要がある。	

※なお、不明な点や詳しくは、役場産業建設課水産係（☎2-3410・直通、または2-3111・内線221）へお問い合わせください。

■アワビ・ウニ資源は漁業者の貴重な財産です。密漁すると罰せられますので、密漁は絶対にしないでください